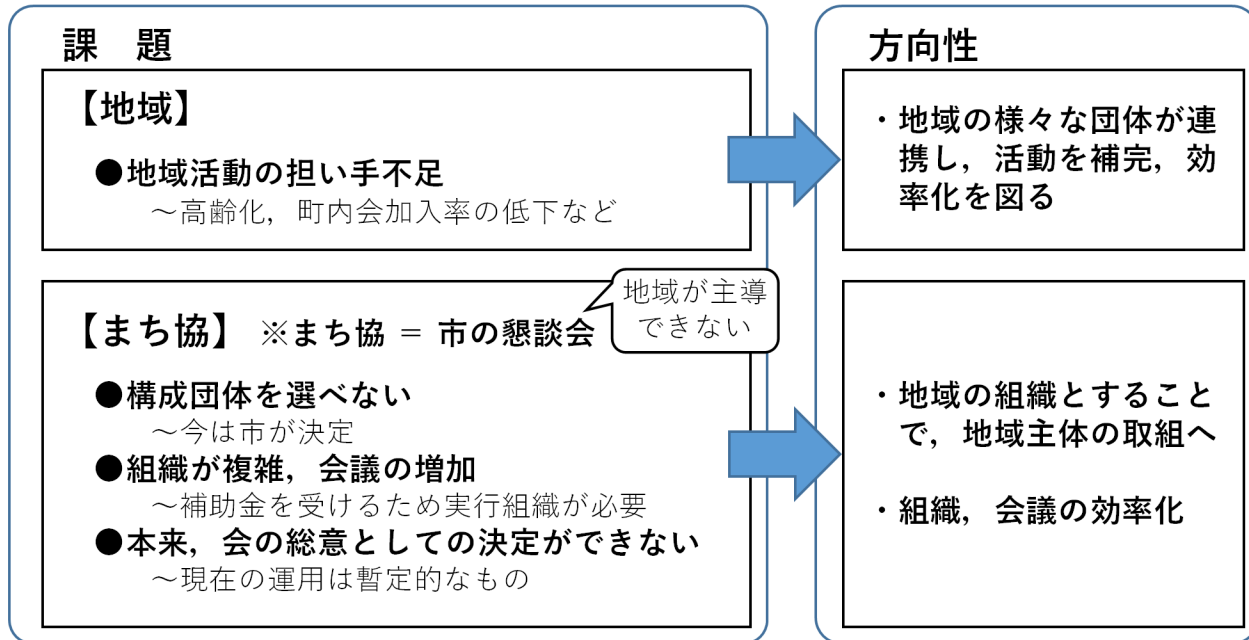


地域まちづくり体制の見直しについて

1 何のために『まち協』をはじめたのか？

- ・まち協は、地域住民が地域の課題を共有し、解決策を検討しながら多様なまちづくりを推進していくことを目的に設置。

2 なぜ、今、見直しが必要なのか？



国の動向（参考）

- ・地域内の様々な関係主体が参加し，地域課題の解決に向けた取組を実践する地域主体の組織「地域運営組織」の形成や運営など，地域のコミュニティ組織の活動基盤の強化の重要性について取り上げられています。
- ・地域運営組織の数 R2：5,738団体 → R6：7,000団体を目指す（旭川市ゼロ）

3 見直しに向けて

- ・今後の組織の在り方を含め，本市の地域まちづくりをどのように進めるかを検討するため，委員の皆さんからの御意見をいただきたいと考えています。
- ・また，市の支援（人的，財政的）については，これまでどおり継続しながら，地域が活動しやすいような仕組みにしたいと考えています。

◎御意見をいただきたい主な内容

- 市の組織から地域設置組織への移行について
(市の懇談会から地域が設置する組織へ)
- 担い手不足への対応について
(情報発信の充実(地域活動への参加，理解促進)，団体間の連携の強化)

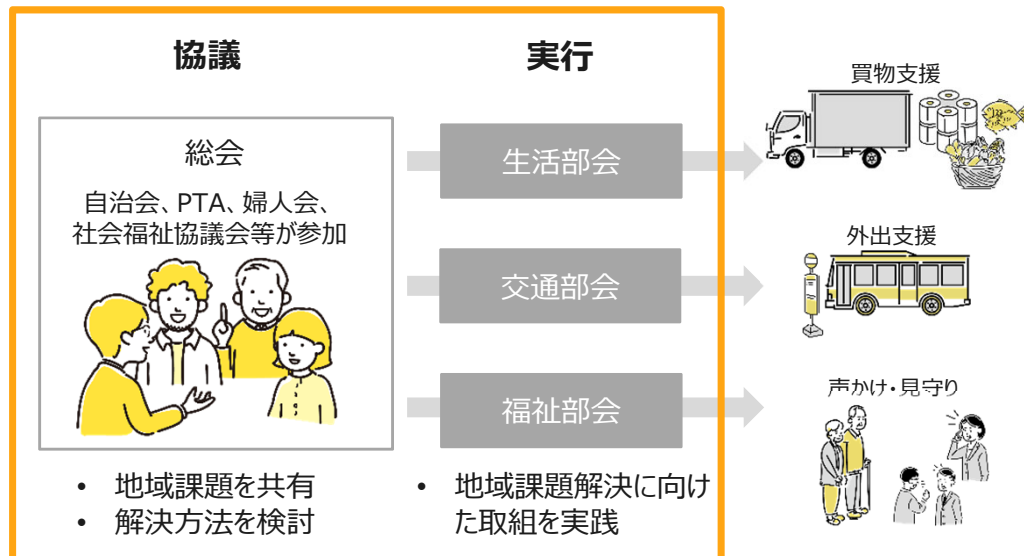
地域運営組織について

▶▶ 地域運営組織とは

- 地域の暮らしを守るため、地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織。
- 地域運営組織の組織形態としては、協議機能と実行機能を同一の組織が合わせ持つもの（一体型）や、協議機能を持つ組織から実行機能を切り離して別組織を形成しつつ、相互に連携しているもの（分離型）など、地域の実情に応じて様々なものがある。

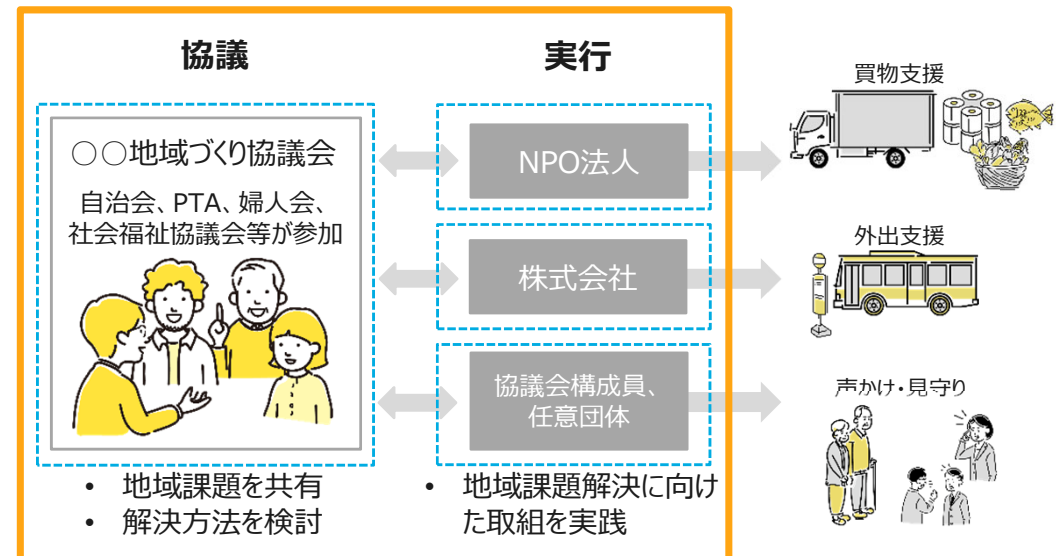
（一体型のイメージ）

○○地域づくり協議会（= 地域運営組織）



（分離型のイメージ）

地域運営組織



地域まちづくり推進協議会委員へのアンケート調査結果 概略版

- 1 調査目的 本市の新たな地域まちづくり体制を検討するに当たり、参考とするため。
- 2 調査期間 令和4年5月中旬～7月下旬
- 3 調査対象 全15地域まちづくり推進協議会委員 241人
- 4 回答率 82.6% (241人中, 199人から回答あり)

5 結果概要

(1) 回答者の年齢

- 60歳以上が約7割

(2) 回答者の所属団体

- 「地縁団体」と「福祉団体」で約6割

(3) 地域活動に参加する目的【複数回答】

- ほぼ全員が「地域貢献」と回答

(4) 地域活動を実施する上での課題・問題点【複数回答】

- 最多は「担い手不足」、次いで「情報・ノウハウが不足」
- その他で「住民の無関心、協力不足」や「担い手の高齢化」に関するものが多かった。

(5) 地域まちづくりを地域が担うメリット【複数回答】

- 「住民ニーズに応じたきめ細やかな対応が可能」と「住民同士の親睦が深まる」が約7割
- その他で「当事者として取り組める」、「自主性が高まる」など
- また、地域が関わることによるメリットが生かされる分野として、「福祉」、「交流イベント」、「防災・防火」、「交通安全・防犯」、「環境美化」など幅広く回答があった。

(6) 地域まちづくりの進め方（現在と将来）

- 現在、将来とも、「地域と市の協働」が望ましいとの回答が約6～7割

(7) まち協に関わる取組の成果【複数回答】

- 最多は「地域課題の解決や地域の活性化」、次いで「他団体との情報共有」

(8) まち協に関わる取組の問題点【上位3つまで】

- 最多は「住民の認知度向上」、次いで「活動の活性化（マンネリ化 など）」、「運営の効率化（会議が多い、組織が複雑 など）」
- その他、新型コロナウイルス感染症の影響による活動制限に関する回答が複数あった。


(9) その他、まちづくり全般【自由記載】

※86件の記載あり。主に次のような意見が複数あった。

- ・活動・意見交換の活性化
- ・団体間の連携・情報共有の必要性
- ・新型コロナの影響
- ・若者の参画
- ・地域負担の軽減
- ・情報発信力の強化 など

地域まちづくり推進協議会委員へのアンケート調査結果

このアンケートは、令和4年度のまちづくり推進協議会の委員241人を対象に実施し、199人から回答を得た。(回答率82.6%)

 ~この枠の中に、アンケートの結果を記載しています。

(あなたについて)

- 問1 あなたの年齢、所属する団体の分野(複数所属している場合は主なもの)について、お答えください。

→あなたの年齢について、一つだけ選び○印をつけてください。

・回答者の年齢は、「70歳以上」が48.2%、次いで「60歳代」が21.6%であり、約7割が60歳以上となっている。

ア 30歳未満	2
イ 30歳代	11
ウ 40歳代	19
エ 50歳代	28
オ 60歳代	43
カ 70歳以上	96

→あなたの所属団体の分野(主なもの)について、一つだけ選び○印をつけてください。

・回答者の所属団体は、「地縁団体(市民委員会・町内会)」が46.2%、次いで「福祉団体(子ども、高齢者含む)」が19.6%であり、地縁団体、福祉団体で6割を超えている。

ア 地縁団体(市民委員会・町内会)	93
イ 福祉団体(子ども、高齢者含む)	39
ウ 商工農業団体	9
エ 防災・交通安全	13
オ 学校・教育	16
カ 文化・スポーツ	4
キ 企業	3
ク その他	22

●問2-1 あなたが地域活動に参加する目的は何ですか？

※ア～カの中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。その他を選ぶ場合は【 】に具体的に記入ください。

・地域活動への参加目的については、「地域貢献（課題の解決，活性化）」が188人で94.5%となっており，ほとんどの人が地域貢献のために地域活動に参加していることがわかる。

ア 地域貢献（課題の解決，活性化）	188
イ 自分の知識や経験を生かしたい	73
ウ 仲間づくり	64
エ 社会的信用が得られる	10
オ 報酬が得られる	1
カ その他【具体的に： <u> </u> 】	19

「カ その他」の記載内容

- 所属団体からの出向
- 地域と学校の連携強化
- 所属組織の目的達成のため
- ボランティア精神で！
- 学校教育活動との連携，充実
- 頼まれたから
- （ア 地域貢献について）理想ではありますが，そんな高まいな精神は恥ずかしながらとても持ち合わせては…
- 教育活動の一貫として
- 市に直接要望を上げることができる
- 当法人では，地域と活動をテーマとしている
- 仕事と共通する目的があるため
- 見守り，繋ぎ役
- 業務的な為
- 町内会での役員のなり手がいない
- 町内会役員・市民委員会役員としての任務
- 地域と学校との連携
- 自分をみかく
- 誰か，何かで役に立っているのかもと思える
- （記入なし）1件

●問2-2 地域活動を実施する上で、あなたが課題や問題点だと思うのは何ですか？

※ア～カの中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。その他を選ぶ場合は【 】に具体的に記入ください。

・地域活動を実施する上での課題や問題点については、「担い手が不足」が168人で84.4%、次いで「情報・ノウハウが不足」が75人で37.7%となっており、多くの方が担い手不足と回答している。また、情報やノウハウの不足も大きな課題として挙げられている。

ア 活動資金が不足	50
イ 担い手が不足	168
ウ 情報・ノウハウが不足	75
エ 活動場所が不足	27
オ その他【具体的に： <u> </u> 】	26
カ 特になし	6

「オ その他」の記載内容

- 地域住民へのアピール不足（関わっていくことの大切さ、意義 関わることの楽しさ等）
- 地域住民の協力不足
- 地域活動に対する無関心
- 事業・行事等のマンネリ化
- 好きでやっていると思われる 一体感が無い。
- 感染症対策
- 若者の主体性不足
- 会員の高齢化
- 社会に対する感謝の気持ち 助け合いの気持ちが不足
- 連携出来る機関（団体、行政）が見えづらい。コーディネーターがいない？
- 各団体の横のつながり
- 無関心な方が多い
- 委員が高齢化し、発想力・行動力が低下
- "イ→特に（若者世代）オ→担い手の固定化、負担過多"
- 子どもの預け先
- 地域の民間企業等とのつながりが薄い
- イに関連して、現在の活動中心年令が65～70～で その下の中間層がいない
- 地域組織→市民委員会、町内会、社協、民児協（民生委員）など、役員のみならず手不足又は協力的な意識の欠如
- 現在は私達高齢者が地域役員を担っておりますが、その方達が出来なくなった時、受け継いでくれる方達がおられません。役員等の会議でも、常にこの話で頭をかかえていて解決方法は見つからないという意見で、ため息ばかりついてい

- 地域の特性等認識を深め絆を強め助け合いの精神を築く
- 上記のメリットはそうだと思いますがその効果が具体的にまだ見えない？
- 我が事として、興味を持って取り組める
- 地域住民の生きがいにつながる
- 地域に本当に必要と思うことを考えられる
- 地域における絆、情報交流、地域内の連携
- 自治体からのやらされ感を無くす
- 住民の健康意識や自主性が高まる
- 住民の関心がなく活動の意義を感じない
- 所属する組織同志との連携を図り、協力して地域力増進を目指すことが出来る
- 地域の事を大切にする意識が芽生える
- 自分達で担う地域 自分達のごことは自分達で行い、行政だけに頼らない
- （記入なし）1件

●問3-2 地域まちづくりの取組について、市よりも地域が関わることによるメリットが活かされると思う分野は何ですか？

※ア～サの中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。その他を選ぶ場合は【 】に具体的に記入ください。

・市よりも地域が関わることによるメリットが活かされる分野については、「福祉（高齢者中心）」が134人で67.3%，次いで「交流イベント」が126人で63.3%，「防災，防火」「福祉（子ども中心）」「交通安全，防犯」「環境美化」が100人前後で約50%となっている。

ア 交流イベント	1 2 6
イ 防災，防火	1 1 1
ウ 福祉（高齢者中心）	1 3 4
エ 福祉（子ども中心）	1 0 4
オ 福祉（その他）	3 2
カ 交通安全，防犯	1 0 3
キ 環境美化	9 7
ク スポーツ	2 9
ケ 文化	5 1
コ その他【具体的に： <u> </u> 】	5
サ 特になし	4

「コ その他」の記載内容

- 地域の交流（定期的開催）
- 親睦

- 全ての取組について市と地域がつながり合うのがよいかと！
- 見おとしがちな「現状」を共有できる
- それぞれ住人のすみやすさと安心，安全

- 問4-1 地域まちづくりの進め方として、皆さんの地域における**現在の状況**を表しているのはどれですか？

※ア～ウの中から一番近いと思うものを一つだけ選び○印をつけてください。

・地域まちづくりの進め方に関する現在の状況については、「市と地域が役割分担し協働で取り組んでいる」が121人で60.8%となっている。

ア 市主導で取り組んでいる（地域の活動は最小限）	31
イ 市と地域が役割分担し協働で取り組んでいる	121
ウ なるべく地域で取り組んでいる（市の関わりは最小限）	37

- 問4-2 地域まちづくりの進め方として、皆さんの地域における**将来の望ましい姿（目標像）**を表していると思うのはどれですか？

※ア～ウの中から一番近いと思うものを一つだけ選び○印をつけてください。

・地域まちづくりの進め方に関する将来の目標像については、「市と地域が役割分担し協働で取り組む」が146人で73.4%となっており、現在と同じく市と地域の協働で地域まちづくりを進めることが望ましいと感じている。

ア 市主導で取り組む（地域の活動は最小限）	10
イ 市と地域が役割分担し協働で取り組む	146
ウ なるべく地域で取り組む（市の関わりは最小限）	36

<お願い>

※昨年度から継続してまち協委員をされている方は、次の問5へお進みください。

※今年度新たにまち協委員になられた方は、問7へお進みください。

（「まち協」に関することについて）

- 問5 まち協に関わる取組について、**成果と感**じることは何ですか？

※ア～キの中から、あてはまるものすべてに○印をつけてください。その他を選ぶ場合は【 】に具体的に記入ください。

・まち協に関わる取組に関して、成果と感ずることについて、「地域課題の解決や地域の活性化」が82人で41.2%、次いで、「他団体との情報共有」が70人で35.2%、「行政との情報共有」、「地域活動の充実」、「地域活動に対する住民意識の向上」が60人前後で約30%となっている。

ア 他団体との情報共有	70
イ 地域活動の充実	56
ウ 地域活動に対する住民意識の向上	55
エ 地域課題の解決や地域の活性化	82
オ 行政との情報共有	64
カ その他【具体的に：_____】	4
キ 特になし	5

「カ その他」の記載内容

- コロナで2年間の活動が計画通り進んでいませんが…
- 末端の会員（住民）まで情報が届いていない
- 同じような活動でも、地域の人自らがそれなら自分もできると「やってみよう」とすることができる取組であること
- 他地域との情報共有だけでなく、協働、協力ができること

●問6 まち協に参加してみて、まち協に関わる取組の問題点は何ですか？

※ア～キの中から、あてはまるものを上位3つまで選び○印をつけてください。オ、その他を選ぶ場合は【____】に具体的に記入ください。

・まち協に関わる取組の問題点について、「住民の認知度向上」が最も多く105人で52.8%であり、次いで「活動の活性化（マンネリ化、地域に必要な活動につながっていない など）」が81人で40.7%となっている。

ア 活動の活性化（マンネリ化、地域に必要な活動につながっていない など）	81
イ 運営の効率化（会議が多い、まち協と実行委組織があり複雑 など）	44
ウ 住民の認知度向上	105
エ 委員の負担軽減	21
オ 行政の支援不足【具体的に：_____】	11
カ その他【具体的に：_____】	19
キ 特になし	8

「オ 行政の支援不足」の記載内容

- （大変だとは思いますが）行政の方も取組に参加する機会があると良いように思いま

す。

- 町内などにまかせて…マンネリ化している
- 資金が少ない 支援が継続的でない
- 行政指導が強く地域課題が認識不足でないか
- 事業に対しての費用（経費）のあり方
- 補助金
- 本来、行政が任うべき住民支援をまち協事業に委ねている前提に立ち 予算面、人材面の柔軟で拡充された補助、助成が必要。
- どこまで応じてくれるのかがよく分からない
- （記入なし）3件

「カ その他」の記載内容

- ア、イはほどほどのバランスがとれている。
- アについてはコロナの影響も大きいと思います。
- コロナを理由に活動ができていない。
- まち協の活動が地域活動にいかせていない。
- 高齢化と少子化
- 現役（サラリーマン等）と第2・3の人生（リタイヤ）が混同して、会議や行事（作業）を進める際の「時間」の捉え方が異なるため、現役→仕事（主業）の合間の地域活動、受動的、疲れがたまって早く休みたい。リタイヤ組→地域活動に生きがい、充実した老後、能動的、何かできることを楽しみとして捉えられる。
- 現役組は役員任期を過ぎるのを待ちわび、その後は「もういいや」になってしまう。よって、会議や作業は両者のギャップに配慮しつつ進行していくことがなかなか難しい
- 形式的会議になりやすく委員の思いを話し合う機会を多く
- コロナでの活動制限
- 先ず、コロナ禍が終息することです
- 市街地区と非市街地区における活動には温度差があり、問題意識に対する考え方や実行に差が生じてしまう。
- 問題点や案を募らずに市のアイデア主導で活動内容を決定している
東旭川地域広いため中央地区優先企画が多く他の地区の細かい情報も取り入れて欲しい
- その年のみの経費。数年かけて取り組むことは不可能なのか？（議会を通さなければならぬ…？）
- 自分ができる事がかぎられている中で、同じ方面の活動をしていくのはしかたがないが、他の活動に意識をむけられない人が多いこと。
- 単年度事業であり、実施時期が重なる。年度当初に対応したいニーズに応えることができない！
- まち協での結論が住民の総意なのか悩ましい
- 事業活動実態の把握が委員間で出来ていないと思われるので、見学を含め委員が

委員が参加する環境の確保が必要

- コロナのため会議も少なく話し合う時間がないため、なかなか次のステップに進めない。特に新事業をやりたいと思った時
- 神居地区は行政との信頼関係がとても良いと思う

(その他, まちづくり全般に関して)

- **問7** 最後に, これまで御回答いただいたもののほかに, 地域まちづくりを進める上での課題や御意見がありましたら, 御自由にお書きください。

「問7」の記載内容（67の記載あり）

- 地域の町内会長さんに集ってもらい, それぞれの町内の活動状況や現在ある課題を話し合ってもらうのはどうでしょうか!? コロナ禍がおさまってからになるでしょうが…
- まち協の活動は巾が広いのでよくわからない部分もある。今年はこれとこれに重点を置いた方が良く思う。
- 行政が地域とつながる最前線であり, 担当者の力量によって行政の良し悪しも変わってくる大事な部署である。これからも地域のニーズを受け止め, 支援して頂ける人材を行政側でも育てていくよう, 期待したい。
- 地域の活動に参加する高齢者の割合が多いので, もう少し, バランスのとれた年代で活動が出来るよう, 仕事をしている方も参加できる仕組みがあると良いと思います。
- 今後ともお世話になります。よろしくお願いします。
- 地域組織の役職の方だと, まち協以外の活動も多く内容もマンネリしていることもあるかと思う。新しい町づくり…。どんな形がいいでしょうか。若い方が現役世代が参加できる形を考えたいです。
- 地域まちづくりのアンケートの質問もむずかしい。一般市民に通じにくく感じます。わかりやすくシンプルに。会議は年5回としてますが私の体験上毎月1回会議をしても足りないくらいです。形だけのまちづくりならば不要です。一生懸命行政で取り組んでる気持ちも察しますが, とにかく時間がない上に新たな方たちに説明不足。もっとヒントを下さい。楽しく笑って。
- コロナ禍前は商店街主催の夏まつりや盆踊りを長くやってきた。コロナ禍になり, ガイドライン等が不明なため実施を足踏みしている状況。以前のような形には戻らないにしても何か方法がないか模索している。
- 住んでいる地域をもっと知っていきたいです。

- 旭川市の高齢化率が問題となっていますが、若年者の流出を抑える為にも、大学の充実と企業誘致 二次産業の育成に尽力してほしい。
- 町内では高齢化が進み、新しく転居して来た若い年代の方々との交流がうまく行えない状況があります。コロナ以前もなかなか町内会活動に参加を促す事もうまくいかない事もあります。広い地域を対象にしながら町内会単位での取り組み方も考えていかなければならないと思う
- どのような取組(事業)をすれば地域まちづくり独自の事業を進める事が出来るのか。広報活動を進めることによって地域まちづくりの位置づけができていていると思う。
- 担当職員の異動が多いのが困る
- 小中学校との連携を考えた時には、校区とまち協や市民委員会が、ほぼ同じ地域は取り組みやすくPTAとも連携しやすいが、複雑な地域では、大きな課題である。
- 今後の会議等で勉強したいと思います。
- 今後のまちづくりを考える中で最も重要な事として、少子高齢化が進むことで発生する課題への対応であると思われる。特に子供達に残ってもらえる職場を作り出すことが大切なまちづくりである。
- 少ない活動経験の中から感ずるのはよく、1人1人の小さい力を合せ活動、とは言うが、絵に描いた「絵」であり実際先頭に立つ方の負担大。地域でも組織や団体の役員を数多く担う例が目につきます。
- 他地域のまち協の動きが解らない。コロナ禍のせいかな？会議に出る(?)だけで終わっている様な気がする。今年は全体で何かイベントを企画してほしい。おまつり的な子供も大人も楽しめる様な事。大変だけどおもしろいと思う。
- 地域全体で参加できる様な形で“まちづくり”を進めて行ければ、盛り上がっていくのではと思います。
- 高齢者の見守り対象者に対する接し方に苦労している。
- SDGsへの取組・食品ロス問題・8050について、ヤングケアラーについて、独居老人支援等々の課題をまち協でも取り上げ、皆さんで考える場が必要か？
- コロナ禍における活動の拡充・活動時間の効率化と内容の充実。以上、宜しくお願いします。
- この地域に住んで本当に良かったと思われるようにしていきたい。地域の特産物を利用した事業、活動をしていきたい。
- 町内会加入率の低下から見える。活動離れ、活動の固定化、地域の魅力づくりに力を入れてほしい。住民の求めているもの、期待している内容を知ってほしい。新しい事業にチャレンジしてほしい。イベントは少なく(回数重視)
- 他団体との情報の共有化を図り、継続して取り組む中で活動の活性化につなげる。
- 初心に戻り意見を数多く出し合って練り直す。災害の少ない旭川ですが、近隣(身近な人)との絆がいかにか大切に認知する方策などを検討することがあっても良いのではと考えます。
- まち協内の情報共有 具体的連携を図ることが望ましい。
- 今年からのまち協参加なので これからの状況把握を楽しみとする。
- コロナ禍の件で以前活動していたのが何でも中止なり残念です。早く元の様になり色

々な活動に協力したいと思っています。

- 地域のまちづくりの推進に当たりスローガン（目標）を策定したらいいと思います。その目標に対して色々なアイデアが出てくるような気がします。例えば、安全安心だと「ホットライン」「安心カード」の周知とか、楽しみだと、老人クラブが、学校へ行って学生が先生になって授業を受けるとか。芝生の上でお茶会とか。
- 地域全体を対象にした、催し物がもっとあったらどうか？
- 地域の課題は独居老人の安否確認、いわゆる見守りを地域の役割に取り入れることはできないか。また、災害時を想定した避難訓練の実施を検討してはどうだろうか。
- コロナ禍が、これまでの全ての苦勞を徒勞に終わらせた感があります。住民間の絆も切れ、葬儀は身内だけで行われ、立て直しは時間がかかりそうです。
- まち協という組織が若い世代に知られていないのが残念。もっと実績を積み、まち協の期待値を高めて仲間を増やしたいです。
- 新しく参加する者として、問4-1、問4-2の様なアンケートを取る意図が分かりません。
- 若手がまちづくりに参加しやすくなるメリットや安心感、わくわく感を生み出せたら良いなと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。
- 地域が自主性を持つことができるように、どんな活動をするか、どんなことが必要か等、話し合ったり、意見を交換する場を設けてほしいと思いました。
- 今後も活動を継続して行くためには各分野ごとの部会を立ち上げることは必要と思われる。又それに伴う予算付けも大切である。
- 5年後、10年後のその地域の「あるべき姿」ビジョンを共有したい。
- 予算ありきのアイデアも良いが、公園の充実や新たな公共施設など、本当のまちづくりのアイデアも市に上げていける様になるといいですね
- まだ地域まちづくりについて良くわかってないです。地域で盛り上げる事ができたら良いと思います。
- 東旭川地区6市民委員会有り、まち協部会に6地区連絡協議会が必要でありませんか。各地区の情報共有が少なすぎます。（旭川市は指導してくれない）
- より自主的な集まりになる為、委員からの意見の抽出等の課題を一緒に考え、より良い集まりになればと思います。よろしく申し上げます。
- 福祉分野、教育分野、地域分野、どの分野でも同じような会議をもち、重複していると思う。専門的知識が必要な物は別だが全てまとめてしまっても良いように感じる。地域が広すぎて活動に無理があると思う。特に高齢者、子どもは1か所では出来ないと思う。
- 江丹別太鼓のような伝統芸能が地域の指導者によって幅広い世代に長い間引き継がれるような仕組みができると良いと思います。
- 永山地区等各地域の実情に合わせた活動が地域住民に周知されている地区の委員をお招きして、活動の紹介や意見交換ができれば効果があるように思います。
- 私は昨年12月まで1年5ヶ月江丹別小中学校で学習指導員として働かせて頂きました。江丹別小中学校は市側は閉校に向けて校舎にはまったくお金をかけないで今まで来ているのだと痛切に感じました。そして市の酷さを驚きました。現在の児童、生徒が学

んでいる校舎は最低限以下の環境だと思えます。学校が建て40年位たつと思えます。その間、1度も窓枠のゴムパッキンなど交換されずにボロボロ、穴だらけ 強い風が吹くとガラスは吹き飛ぶと思えます。そのガラスも薄い1枚ガラス(穴だらけのパッキンと)そこから冬は冷気がどんどん入って来ます。体育館は屋根が穴だらけ、雨が降ったらバケツを幾つも置き、秋には多量の亀虫が入って来ます。江丹別には近年若者が次々移住しています。学校があるので安心しているのだと思えます。これからも学校は残してほしいと思えます。子供達には教育を平等に受ける権利があるはずです。あの酷い環境はあまりに惨いと思えます。早急に状況を確認して頂き、直して頂きたいと思えます。本当に宜しくお願ひします。追伸：2階の中学校は北側の窓に冬はビニールを貼っています。床も所々剥がれ躓くほどです。

- 各まち協の課題と活動の共有化のため、「地区市民委員会代表者会議」と「地区社協代表者会議」並びに「地区民児協・地域包括センター、地域まるごと支援員代表者会議」を年1～2回程度実施し、まち協活動の活性化を図ってはどうか？
- 本会は行政側と情報交換・共有する場として、又まちづくりの目的に向けて住民参加型の方策を共に、模索・遂行に向けてアクションを！！と考えます。
- 高齢化もあり、地域のみでの活動は、一層難しくなってくると考えています。外出における大きな課題は、移動手段。普段活動に参加しない人は、多くの人が集まる場所で孤立するかもという不安もあると思えます。ITが普及し、自宅からでも参加ができるアイデアも必要
- 活動内容の周知がもっと必要だと思う。委員も長期的に関わることができる人材を育成する事が大事だと思えます。
- ①地域内市民委員会の連携不足 ②地域内事業における課題の共有化が必要
- まち協について知ってもらう機会が不足していると思えます。毎月11日の黄色いシート運動等で、協力してもらう事でこの活動に興味を持ってもらうきっかけを作り活動に参加してもらう事も、一つの方法だと思えます。
- 職員の方々が町内会や地域の行事のある時はお忙しい中恐縮とは存じますが、実際に出席される事で書類等の上で感じる事以外に現実を見た時に又全く別の実感があり、住民の方々とも顔を合わせてお話し頂ければ親しみもわいて実の声も聴かれますがいかがでしょうか。毎回とは申しませんが、私の体験から申しますが、とにかくお互い仲良くして行く事により協力体制が自然と出来てくるものです。よろしくお願ひ致します。
- 海外に比べ、生活にゆとりの少ない日本では、住民が地域活動に取り組むのは難しい。まち協の存在意義は大きいと思う。
- 地域における各分野のプロの協力もふやしていけたら、活動が早まるのではないのでしょうか
- 地域づくりによる介護予防を進める。「孤独」「閉じこもり」「抑うつ」など、健康状態の悪化を防ぐため、通いの場づくりや、人とのつながりを作り、健康寿命を延ばす様な取組。
- 地域の少数の人がいろいろな団体の役員を兼ねる状況をなくしていけたらと思っている。より多くの人たちが地域で活動していると良いと思っています。(理想論…?)

- 新任のため、まち協事業全般を漠然としてか把握していないので、今後、任期期間中において3年度継続事業、新規事業などに参画したうえで理解を深めるとともに把握に努めたい。
- まち協で話された話題を各地区、地域におろして、各地域で活動していく、仕組みが必要である。そのためには、市民委員会から町内会への働きかけが重要である。
- 「地域まちづくり推進協議会は、住民が地域の課題を共有し、解決策を検討しながら個性ある多様なまちづくりを推進していくことを目的に設置された」
現行の予算付けでは、ほとんど動けないのが実情。そんな中で結果を求め（作り）るだけの活動にしか見えない。コロナのパンデミックを取り上げても旭川市民への情報公開がどれほど行政から行われたかを検証すれば無に等しい感がある。「地域自治に関する組織のあり方の検討」は急がれると考える。
- 地域の課題が何なのか（まだ見えてこない）
- 他団体、学校などとの交流を深めたい。
- 30～60代の活動者の発掘、育成が急務では。
- 市の郊外地区における農村振興、農業と共に住民が関わってきた、例えば地域に根付いてきた郷土芸能などの存続に目を向けて欲しい。
- まちづくりメンバーの会合での発言が少ない。もっと積極的に発言できるよう事務局で工夫していただきたい。
- コロナ禍で様々な課題がありますが、世代間交流ができれば良いと思います。
- 地域活動（町内会）等々、担い手の高齢者がほとんどで、何をするにも大変だ、この後、どの様な対策をしたら良いのか…。行政にも真剣に取り組み共有してもらいたい、との相談が本当に多くあります。
- まちづくり推進協議会が地区市民委員会の補完することが、分かりやすい。
- 町内会・市民委員会・福祉協議会等の団体に対する地域住民の関心が低く、色々な活動も関係者が主体となり活動もマンネリ化している。
- 旭川市全体の問題点は何か、それを解決する方法を何点か掲げ、一つでも達成できる取組をテーマにし、まちづくりに反映させる事
- まち協のエリアが広く、各種事業に参加するのが難しい。町内会、市民委員会内での事業で精いっぱいである。
- 現場でたずさわっている人、そうでない人、バラバラにいたので、なかなか話がまとまらない気がします。難しい問題点かと思いますが、たくさん時間をかけれる様なればと思います。
- 今回御縁があって、まち協に関わる事になりましたが、普段の生活において、このような機会に巡り合う事は難しいと思います。気軽に参加できる様になると、もっと幅も広がると思います。
- 事業が世代を限定した事業が多いのではないかと。世代間の交わりがあってもいいと思う。
- 今年度からまち協委員となります。地域の強みや魅力を生かしたまちづくりの一員となれるよう努めたいと思います。
- コロナの影響で活動がどこも衰退しているように感じます。できる範囲で少しずつ活

動できるといいですね。

●当まち協は6市民委員会が協力して行なってますが地域毎に行事など行なっており、マンネリ化になっている状態でなかなか打破出来ず、メンバー的にも少し改善できたら良いと思っております。

●地域の特徴が少ないと思われるので未来に向かって楽しめる地域になる事を期待します。

●現状と課題

① まちづくりプラットフォーム（地域協働体で、情報交換とまちづくり課題の共有）構築が望まれる。各事業を推進するための実行委員会を組織する団体構成はどうあるべきか？課題ではないか！！

ア 地域が今どのような現状にあるか

イ どのような課題に直面しているのか、基礎的な情報のやりとりと情報を共有する場が必要である。

② 協働したまちづくりの展開

単なる情報交換や課題の共有などにとどまらず、

ア 明確な目標をもって、具体的な行動を起こし、地域に何らかの効果をもたらすこと。

イ 事業の継続性で見直し、どんなまちづくりを進めるのかの知恵が求められている。

ウ 地域を動かし、地域を元気にするためには、地域のニーズをうまくつかんで、事業化することが求められている。

エ いかにして大勢の市民を活動の場に結集させるかが課題である。市民が参加することで、多くの人々と出会い、まちづくり関心を深めそこから新たな発見と気づきが生まれる。

オ 最後は事業の見直し・検証・評価は？

●大きなコミュニティでとらえず、小さなコミュニティ単位でとらえて、交流できる活動や周知の仕方、住民1人ひとりがもっと声をだし、何かしなければという問題意識をもって、同じ考えをもつ者同士でつくりあげられる協働ができるようになれば、そしてそんな動きを認め、支えてくれる行政との協働ができれば良いかと……

●道の駅の場所 他の市町のように、旭川の顔になる様な、旭川市民が通いたくなる様な、道の駅再生請負い人等の手を借りる事も良いかと思えます。

●特になし 3件

◆ 御協力いただきありがとうございます。 ◆

まち協を含む「地域まちづくり」の推進に向けた成果と課題

1 まち協設置時

地域側の課題

高齢化の進行，担い手不足，町内会加入率の低下など

- ・地域活動の活性化，連携強化の必要性
- ・地域活動に対する行政支援の必要性
- ・地域活動拠点の必要性

行政側の課題

多様化・複雑化する住民ニーズへの対応

- ・地域まちづくり推進協議会（まち協）の設置
- ・市からの人的・財政的支援の実施（補助制度の創設）
- ・地域施設の整備，機能の集約

地域自治推進ビジョン（H26.10策定）

「住民自治組織の連携促進と機能強化」「行政支援・機能の充実」「地域活動拠点の整備」
（地域範囲の最適化）（情報共有体制の強化）（自治意識の醸成）

まちづくり基本条例（市民主体・地域主体のまちづくり）

2 これまでの成果と課題

R4年度まち協委員
アンケートなどから

成果

- ・地域内での団体間の情報共有，地域と行政の情報共有
- ・地域活動の充実
（まちづくり推進協議会に関わる事業に参画した住民
H26：813人→R1：1,478人 ※665人増）
（地域まちづくり推進事業補助金の交付件数
H24：13件→R1：64件 ※51件増）
※R2年度以降は新型コロナの影響があるためR1で比較
- ・拠点の整備（東部まちづくりセンター，グリーンパル等）

課題

- ・担い手の高齢化，担い手不足，負担感
- ・地域活動に対する関心の低さ，情報不足
- ・町内会の加入率低下（H24：61.7%→R3：56.6%）
- ・コロナ禍による活動の制約
- ・まち協は，市が設置する懇談会という位置づけ・・・
※市が設定するルールのもとでの活動となってしまう
「意見交換の場であり，意思決定機能がない」
「補助金を受けるため，実行組織の立ち上げが必要」など

組織・人

（より自由度の高い組織へ，引き続き人的・財政的支援）

活動拠点

（地域の拠点機能の確保）

情報

（発信力の強化）

R4，R5年度で意見交換を行い，地域まちづくりの体制見直しに向けた検討を行う

地域まちづくりの方向性

事前を実施したアンケート結果や現状の課題等を踏まえ、今後の地域まちづくりの体制見直しに向け、方向性を整理しました。

目指す姿：地域や住民が主体的に考え行動できる地域づくりの推進

- 課題～担い手不足
(高齢化, 加入率低下など)



団体間の連携により
地域活動の強化・効率化

地域情報の発信強化により
活動参画のきっかけづくり

※まち協委員アンケート(R4) ～ 連携の必要性, 担い手不足, 認知度向上, 活動の活性化 など

項目	組織・人	活動拠点	情報
地域	<p>○まち協より自由度の高い組織体制へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市設置の懇談会から地域設置組織へ ・地域を代表する様々な活動団体や企業などが連携 <p>※組織の構成は地域が決める</p> <p>○地域主体の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業, 協働事業 <p>○組織の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携, 共有, 情報交換機能 ・意思決定・実行機能及び提言機能 <p>○財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金, 負担金, 委託料 ・自主財源 (協賛金, 寄附金, コミュニティビジネス など) <div style="text-align: center;"> <p>連携組織 (まち協)</p> <p>地縁団体 NPO 地域活動団体 学校 ほか</p> <p>↓</p> <p>各種地域活動</p> <p>子ども見守り, 高齢者生活支援, 防災, 健康増進, 交流イベントなど</p> <p>※地域の実情に合わせて活動を充実</p> </div>	<p>○活動拠点の利用</p> <p>〔市設置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区センター ・住民センター ・地域活動センター など <p>〔地域設置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域会館 など 	<p>○地域情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回覧板 ・広報誌 ・地域PRパンフレット ・ホームページ など <p>※地域活動への誘導 (参加のきっかけづくり)</p>
行政	<p>●活動費に対する補助</p> <p>●連携組織に対する人的サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務支援 ・コーディネート ・行政との窓口など <p>※市は従来と同様に地域の活動状況に応じて支援を行う</p>	<p>●地域会館の整備に対する補助</p> <p>●拠点の整備・運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支所, まちづくりセンター ほか各市有施設 	<p>●市による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌, HP, SNS など ・地域活動への理解促進 <p>●地域情報共有プラットフォームの構築</p> <p>●地域活動のパネル展など</p>